

# まちづくり交付金 事後評価シート

洞爺湖温泉地区

平成20年12月

北海道洞爺湖町

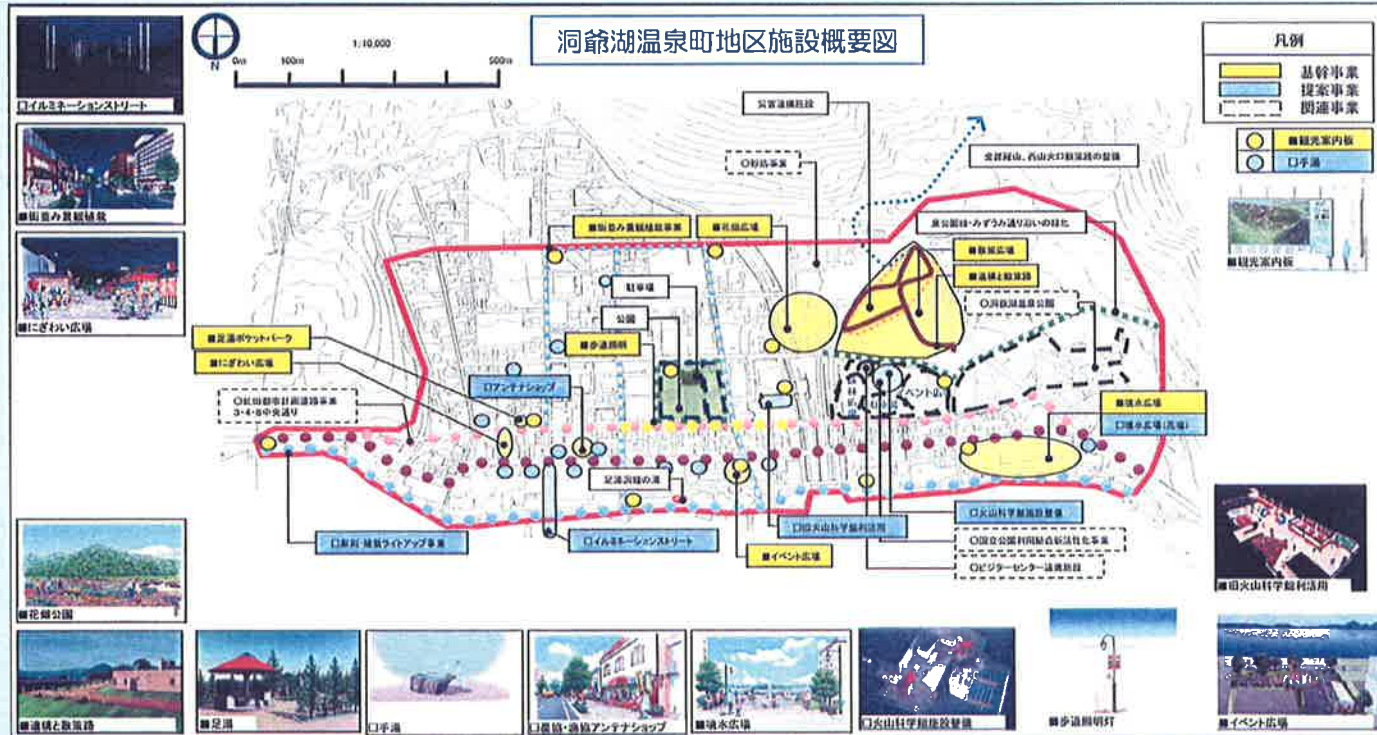
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	洞爺湖町		地区名	洞爺湖温泉地区			面積	84ha	
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	1,175百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(足湯ポケットパーク、花畑広場・散策広場、旧洞爺協会病院跡地噴水広場)、高質空間形成施設(照明施設、植栽)									
		提案事業	地域創造支援事業(イルミネーションストリート、手湯整備、アンテナショップ整備)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(屋台団地広場)	削除/追加の理由 賑いを創造する広場として当初計画していたが、より多くの人々が集まれる賑い広場に変更するため削除した。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	地域創造支援事業(駐車場の時限開放・屋台団地広場)	駐車場の時限開放:洞爺湖町の住民が自主的に看板を設置し、事業の必要が無くなったため取りやめ				影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(にぎわい広場、イベント広場) 高質空間形成施設(観光案内板、歩道照明灯)	にぎわい広場:屋台団地広場から移行し、多目的なイベント広場として整備範囲を拡大して事業効果を向上させるため。 イベント広場:まちづくり交付金事業における各施設整備、またその周辺の空き地を有効活用することでより一層の事業効果が見込まれるため 観光案内板:新たな施設が整備されたことにより案内板及び各施設への誘導標の整備が必要であるため				影響なし				
提案事業		地域創造支援事業(火山科学館施設整備事業、旧火山科学館利活用事業、噴水広場整備事業(花壇整備))	火山科学館施設整備事業:環境省事業であるビジターセンター整備事業と連携し、火山科学館施設を整備することでより一層の事業効果が見込まれるため追加 旧火山科学館利活用事業:施設の移転に伴い、遊休施設を利活用し観光を目的とした集客を目的とする上で観光客へのサービス向上等の効果が得られるため追加 噴水広場整備事業(花壇整備)				影響なし					
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成18年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	観光客入込人数	人/年	326万	14年祖	355万	20年祖	355万5千	○	あり なし	噴水広場により子供の遊び場ができ、また、まちの景観の向上、足湯・手湯等の普及により、情報が無くても気楽に楽しめる町並みが見えた。	平成21年7月
	指標2	有珠山周辺散策路の利用者数	人/年	43万5千	15年祖	46万	20年祖	17万7千	×	あり なし	実施事業は目標に合致するものであったが、指標が事業区域と若干離れており直接的に数値効果の発現が難しかったと思われる。	平成21年3月
	指標3	宿泊客数	人/年	69万	14年祖	72万	20年祖	74万8千	○	あり なし	イルミネーションストリート、照明施設等の充実により、夜間でも楽しめるまちづくりができ、観光客が宿泊していくようになり、宿泊客が増える効果が見られた。	平成21年7月
	指標4									あり なし あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	火山科学館の利用者数	人/年	5万8千	15年祖			9万2千			ビジターセンターと連携して整備したことにより施設が充実し、また花畑広場・散策広場を含めた総合的な火山学習の場として利用者数が増加した。	平成21年3月
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	イルミネーションストリート整備や手湯・足湯・イベント広場を整備することで夜間でも楽しめるまちづくりができ、これらの施設を利用したイベント(洞爺湖温泉泉師の湯の日湯まつり・手湯スタンプラリー・イルミネーショントントレ・洞爺湖温泉冬まつり・ホーリーライトクリスマス等)が行われ、まちの活性化が増した。また、歩道照明灯や植栽をしたことによりまちの景観が向上し、まちをきれいにするという住民の意識も高まりつつある。											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	「魅力ある観光地づくり推進委員会」による活動					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					「魅力ある観光地づくり推進委員会」については事業終了と同時に解散となるが、今後も住民の意見を聞き、まちづくりを進めていく。
持続的なまちづくり体制の構築	魅力ある観光地づくり推進委員会					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					「魅力ある観光地づくり推進委員会」については事業終了と同時に解散となり、今後は(社)洞爺湖温泉観光協会、NPO法人洞爺にぎわいネットワークがまちづくり活動を行い、各団体の主体的な活動に任せ洞爺湖町は後方支援に徹する。	

様式2-2 地区の概要

洞爺湖温泉地区(北海道洞爺湖町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値	年度
大目標: 洞爺湖温泉地区の賑わいを再生する 目標1 誰でも気楽に来ることが出来る温泉町づくり 目標2 火山と共生した観光地づくり 目標3 既存の観光資源を活かした滞在型観光拠点づくり	観光客入込み数	単位: 人/年	326万	14年度	355万	20年度	355万5千	H20
	有珠山周辺散策路の利用者数	単位: 人/年	43万5千	15年度	46万	20年度	17万7千	H20
	宿泊客数	単位: 人/年	69万	14年度	72万	20年度	74万8千	H20
	火山科学館の利用者数	単位: 人/年	5万8千	15年度	—	—	9万2千	H20



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>「魅力ある観光地づくり推進委員会」との連携により、基盤ができたことで観光客が増え、温泉商店街ににぎわいが向上した。</li> <li>有珠山周辺散策路の数値目標は達成できなかったが、周辺の花畑広場・散策広場・火山科学館の整備により、火山科学館の入館者数が増えた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な基盤整備(ハード)はほぼ達成できたので、今後は活用及び維持管理について検討する。</li> <li>賑わい持続の取り組みは(社)洞爺湖温泉観光協会、NPO法人洞爺にぎわいネットワークがまちづくり活動を行い、洞爺湖町は各団体の主体的な活動に任せ、後方支援に徹する。</li> </ul>